

# 八郷広報

発行所  
茨城県八郷町役場  
発行責任者 岩本佳之  
印刷所 やさと印刷所

町の人口  
男 13,954  
女 14,366  
計 28,320  
世帯数 5,724  
(1月1日現在)

## 賀正



町道の舗装つづく……

飯塚山崎線 2,080mの舗装工事

町民の皆さま明けましておめでとうございませう。ここに希望の新春を迎えるに



あたり皆様のご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。私、昨年十二月の議会に

### 円満な議会の運営に努力

議長 馬立林蔵

ら、振り返ってその責任の重大性を考えるとき、私ごとき政治力の乏しい者がその職責を果し得るかどうか

おいて、はからずも八郷町議会議員に選任せられ、まことに身にあまる光栄と存じております。しかしなが

内心不安を感じておりますが、今後一生懸命に勉強して議会の運営に、町民の福祉増進に寄与したい覚悟で



今年が昭和四十五年、西暦一九七〇年が始まる年であり、この七〇年は、

### 誤りのない町づくりへ

町長 吉田次郎

問題をかかえている年といわれております。このことは、八郷町のよ

米の生産過剰を境として農村の農業経営が大きなゆ

町民の皆さん新年おめでとうございませう。年頭にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

日本の将来を占う新しいスタートの年といわれております。それほど国際的に、また国内においても大きな

た、私たちの生活の上にも直接、間接に関係の深い多くの問題があるということでございます。

す。町にとっても、農業行政の中で角度を変えて打出さねばならぬ一面があることを、町民の皆さんとともに適格に捉えてその対策を大きく推進せねばならぬと存じております。

さらに、農業従事者の大部分が他産業へ就労せねばならぬ実態、これも高度経済成長にともなう農村へのしわ寄せであります。農閑期を利用して働くというこ

とはけっこうなことですが農外所得に頼って、農家生活を持続しなければならぬ現実をどのようにして豊かな農村、明るい農村としての姿と内容に培ってゆくか

当面の大きな課題でございます。町が県の指導のもとに田園都市としての地域開発を進めております。この基本線にそって昨年もたくさん

の事業を積み上げました。町民の皆さんのご協力ありがとうございました。今年も道路の整備舗装を重点として、体育館をはじめとする教育施設の整備、

るようお願いいたします。さて、八郷町も誕生して十五年、着々と堅実に発展の一途を進みつつあることは、歴代の町長、議会、そして町民の皆さまがが丸となった郷土愛の精神が築きあげてきた結果であると信じ、まことに感謝にたえない次第でございます。

しかしながら、真に町民の福祉を増進し、生活の安定を図り、平和八郷町をつくるためには、幾多の重要な問題が山積みしております。そこでこれまで八郷町が堅持してきました健全財政はあくまで守り、町民の福祉と健康維持増進、産業経済の振興、また社会の発展は人造りからといわれて

いる教育の振興充実、地域開発、産業発展の基礎をなす道路整備などに力を入れなければならぬと思いま

### 議会の正、副議長変わる

議長馬立氏、副議長に川井氏

#### 定例議会から

第四回定例議会は、十二月二十三日午前十時から役場議場で開かれ、四つの議案について審議され原案どおり可決されたあと、正、副議長の

の選挙が行なわれました。その結果、新しい議長に馬立林蔵氏、副議長に川井林蔵氏が選ばれました。

議決されたおもなものとしては、税条例の一部改正共済事業特別会計補正予算などです。また、衆議院議員選挙委託金百三十万円、稲作特別対策事業調整奨励金千三百四十九万円の補正予算について、急をよしたので専決事件にしたとの報告がありました。

可決されたおもな議案は次のとおりです。  
市町村職員退職手当組合規約の一部改正  
茨城県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正するもので、おもな点は、加入団体の名称の変更と、新たに数団体の加入を認めようとするものです。

美野里町簡易水道への加入  
大字山崎陣場地内の住民一〇名が、美野里町簡易水道へ加入するために、議会の承認をえたものです。

税条例の一部変わる  
地方税法の一部改正にともない、町税条例の一部を改正するもので、土地建物などの課税所得に対する町民税の課税方式を改定するものです。

所得にはほかの所得と総合して課税されましたが、改正により分離課税となりました。この改正によって、課税の価格が大きくなるほど、長期所得の場合は減税となり、短期所得の場合は逆に税が高くなる見込みです。

農業共済事業  
補正に一一七三万円  
本年度産の水稲は、低温障害をはじめとする非常に大きな被害がでて、共済金の当初の予想見込額をオーバーし、不足がでたので補正を行なうものです。

あります。町では、家屋共済の推進をしています。掛金は50万円で1千円、百万円で2千円、最高3百万円まで農家のかたはたれでも加入ができます。

冬は火災のたいへん多いときです。チョットした気のゆるみから火災を起こしがちです。たばこ、たき火、取りばい、ストーブなどの取り扱いには十分注意してください。

## "火災"はチョットした気のゆるみから

万に備えて「家屋共済」へ!

「備えあれば憂えなし」ということばが



# 待望の「八郷町観光協会」発足

## 会員413名、積極的に開発へ

水郷筑波国定公園をはじめとする恵まれた自然を生かして、観光の面でも大きく躍進しようと、四一三名の会員があつまり「八郷町観光協会」を設立しました。

町民待望の「八郷町観光協会」が発足しました。八郷町の周囲は、すでに水郷筑波国定公園になっており、町内に散在する文化財や東筑波、湯袋を拠点とする高原観光地は、ますます観光地としての風格を備えつつあります。これらに農業を結びつけた観光農業は、将来無限の発展が期待されます。このような時期に観光協会が設立されたことは、大きな意義があります。



観光協会の設立総会

設立総会は、昨年の十二月十六日、八郷公民館に会員二〇名と多数の来賓を招いて盛大に行なわれ、総会では、開会のあいさつと、経済課長から経過報告があり、準備委員長である町長からもあいさつがありました。

つづいて仮議長を選出、四つの議案について審議にはいりました。まず、協会の会則を決めたあと、選挙委員を選び、会長をはじめ理事などの選任をいたしました。役員決定後は、会長が議長となり、四十四年度の事業

計画と七十一万一千円にのぼる予算を審議し決定しました。また、多数の来賓から観光協会の発展を期待するお祝いのことがあり、総会終了後は「茨城

観光協会からの誘致、観光客の推進など、いろいろの施策が打ち出されることになりました。

皆さんの協力によって、農業の町八郷町が、観光の面でもさらに一段と飛躍するようになりたいものです。

役員の氏名、事業計画などは次のとおりです。

### 協会の役員

△会長 吉田 次郎  
△副会長 菊地長四郎 友部 三男  
△理事 滑川 好道

### 44年度の事業

△方計  
水郷筑波国定公園の高原景勝地観光とあわせ、観光果樹園の造成を推進するとともに、生産物資を直接観光に結びつけ、東京都内及び近県、県内に町の観光を紹介宣伝して観光客の誘致をはかる。

△計画  
○観光宣伝事業の実施  
各町村界入口に、ハイキングコース、キャンプ、栗ひろい、みかん狩りなどの案内板の設置。観光だより、ポスター、パンフレット、写真など印刷物を作成する。  
○観光優良先進地視察及び講習会の開催  
○観光資源の調査、研究  
○観光客誘致対策(駐車場整備)  
○観光地美化啓もう宣伝

### 総選挙の投票率

# 前回を上回る 73.2%

十二月二十七日、衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官の国民審査が行なわれましたが、町の投票率は前回の六八・三%を上回る七三・二%というよい成績をおさめました。

### 【開票の結果】

竹内 猛	一、四四九票
丹羽 喬四郎	三、八八一票
登坂 重次郎	八、八三三票
二見 伸明	一、九八四票
北沢 直吉	二、六七八票
池田 峰雄	二、一七票
中村 時保	六〇票
赤城 宗徳	二、二〇七票
有効投票	一三、三五九票
無効投票	一〇〇票
投票総数	一三、四五九票



投票をする人たち

— 芦穂事業所で —

### 会則の一部

- 第1条 本会は八郷町観光協会と称し、事務所を八郷町役場に置く
- 第2条 本会は町民文化厚生と地域産業の伸展を期し、観光事業の健全なる発展を図ることを目的とする
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう
  - ①観光事業に関する調査研究
  - ②観光宣伝、史蹟名勝の保存、郷土文化の助長発展
  - ③観光施設の計画と促進
  - ④観光土産品及び観光農植物園の啓発普及
  - ⑤観光客の誘致斡旋とサービス並びに施設に対する改善指導
  - ⑥その他本会の目的達成に必要な事項
- 第4条 本会の会員をわけて次の2種とする
  - (イ)特別会員 (ロ)通常会員
 会費は1口年額1,000円とする。特別会員は会費5口以上を納付する者及び本会の事業についてとくに功労のある者、又は学識経験者で理事会が推せんした者とする
- 第5条 本会に次の役員を置く
  - 会長1名、副会長2名、理事10名、監事2名
- 第9条 役員は総会において会員の中から選任する
- 第10条 役員任期は2年とする
- 第14条 本会に下記の職員を置き会長が任免する
  - 幹事2名、書記若干名
- 第15条 本会の会議は理事会及び総会とする
- 第20条 本会の会計は会費、補助金、寄付金その他の収入をもってこれに充てる
- 第22条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る

### 《投票の結果》

	男	女	計
有権者	8,825人	9,561人	18,386人
投票者	6,452人	7,007人	13,459人
投票率	73.1%	73.3%	73.2%

注 有権者は選挙当日の有権者 国民審査は持ち帰り37票

町内の最高投票率は、第二二投票区(根小屋梨集荷所)で八〇・五%、最低が第一四投票区(瓦会小学校)の六五・三%でした。

また、最高裁判所裁判官の国民審査では、持ち帰りが三七票もあり、衆議院議員の投票率を下回りました。なお、国民審査の結果では、四人の裁判官のうち、罷免すべきとの投票は、最高が五四二票、最低は三八〇票でした。開票と投票の内訳は上記のとおりです。

### 【水稻の共済金】

地区	共済金額
柿岡	3,225,591
小幡	4,786,058
小芦	4,556,349
恋瀬	2,738,398
瓦園	2,494,332
林部	2,735,245
小椋	3,190,571
計	28,605,988

昭和四十四年度産水稻の被害は、低温障害などがあって大被害となったため、早期支払いをすることになり、昨年十二月末に八郷農協各事業所及び小椋農協の貯金口座に振り込みを終わりました。

なお、地区別の支払金額は次のとおりです。

### 水稻の共済金 二千八百万円

### 石岡公共職業安定所 パートの紹介へ

石岡公共職業安定所では、最近のパートタイム労働力に対する需要の増大にともない、パートタイムで働きたい人のために、とくに専門の係を設けて職業紹介を行なうことになりました。

余暇を利用してパートタイムにたい人は、家庭の小さい子どもがカギツ子になったり、非行に走らないよう、十分考えて働きにいらるわけです。

### タコ足配線

「タコ足配線」はしてませんか。天井から下、ているコードは普通七アンペア(七〇〇W)まで、その下のソケットは六アンペア(六〇〇W)までが限度です。ふたまたみやみつまではたいへん無理をしていらるわけです。

長い間にはソケットがとけたり、コードが燃えだしたりしますから、電気器具専用のコンセントを取りつけて使うようにしましょう。(東京電力から)



### 歳末たすけあい募金の配分

△町内準要保護世帯 154,000円 (1世帯1,200円、1人400円)

地区	世帯	人員	合計
柿岡	3	5	5,600
小幡	15	50	38,000
小芦	9	31	23,200
恋瀬	7	19	16,000
瓦園	8	15	15,600
林部	6	18	14,400
小椋	10	33	25,200
計	66	187	154,000

△老人ホーム入所者見舞 7,000円(7人)  
△結核療養所入所者見舞 1,000円(1人)  
△生保入院患者見舞

○精神患者 15,500円(3人)  
○結核患者 500円(1人)  
○職親 500円(1人)  
△心身障害児見舞 23,000円(46人)  
△収入  
○募金額192,811円 ○県支出金9,850円  
△支出  
○配分額 201,500円 ○郵送料 600円 (差引残金 561円は翌年度へ繰越し)

歳末たすけあい募金二十万円は

### 恵まれない人たちへ配分

皆さんのご協力により、昭和四十四年度の共同募金は、六十三万二千元、歳末たすけあい募金は、二十万二千六百六十一円で、どちらも目標額を越えることができました。ご協力ありがとうございました。

歳末たすけあい募金については、民生委員さんらの協力によりまして、皆さんの

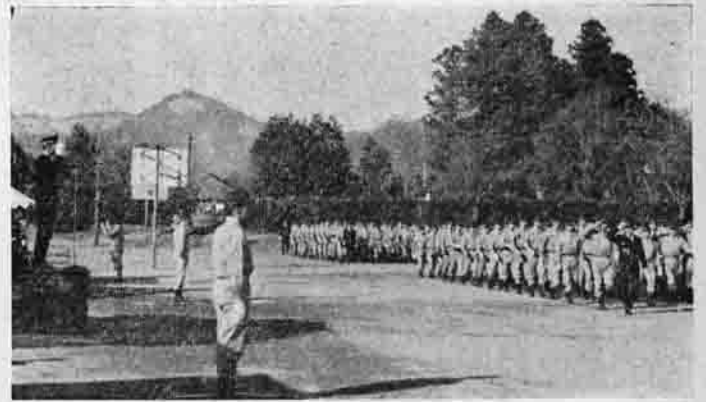
からの募金は、恵まれない家庭へ、おわたししました。内訳は左表のとおりです。

1月の納税	
町民税	第4期
国保税	第4期
麦共済掛金	



# 消防団の意気をひろう

## 永年勤続者、協力者を表彰



消防自動車のいっせい放水



出 初 式

整然とした分列行進

八郷町消防団恒例の出初式が、一月十日八郷公民館グラウンドに全消防団員が参加、多数の来賓が見守るなかで、消防団の意気を示しました。

出初式の目的とするものは、消防団員の服装、訓練機械器具などを点検して、

消防の万全を期すとともに強固なる消防精神の高揚を図ろうというものです。

午前九時から副団長の開会宣言が始まり、人員及び機械器具の点検、郡大会で優勝した消防自動車ポンプ分団の模範操法、整然とした分列行進などがくりひろ

げられました。つづいて永年勤続消防団員の表彰伝達、火災消火に協力された人や消防協力者の表彰がありました。また、多数の来賓からは消防団員に期待するお祝いのことがありました。

式終了後は、半田において消防自動車九台が勢ぞろいして、放水試験を行ない出初式を終わりました。表彰された人たちの名前は次のとおりです。

【県知事表彰】  
副分団長 倉木善四郎(片野) 長谷川操(須釜)  
部長 須藤能夫(柿岡) 谷田部義雄(柿岡) 藤田幸一(吉生) 上田照雄(弓張) 班長 松川寛一(柿岡) 稲田昭昇(吉生) 土佐隆治(吉生) 海東長男(上曾) 成田健男(柴間) 小松崎健次(東成井) 飯村国治(山崎)

【町長表彰】  
元部長 田中清(吉生) 萩原正雄(月岡) 羽生彰(柴内) 元班長 大槻篤(柴間) 元団員 久保田昌文(柴間)  
【団長表彰】  
第一分団第六部部長谷田部義雄  
第五分団第一部部长長谷島博久

【町長表彰】  
元部長 田中清(吉生) 萩原正雄(月岡) 羽生彰(柴内) 元班長 大槻篤(柴間) 元団員 久保田昌文(柴間)

### 町、農協など四者で

### 農政の連絡会議を発足

この一月から、八郷町八郷町農業委員会、八郷農協、小椋農協の四者で農政を中心にした「八郷町農政連絡会議」を発足させました。

それというのも、余剰米の増加にともなう米の生産調整をはじめとして、最近の農政は激動期にあり農業者をとりまく状況はきわめてきびしいものがあります。そこで、これらの激動する農政に対処し、豊かな町づくりをするためには、関係機関が相互理解のもとに密接に連携して農政の効率的運営と円滑化を図る必要が

農事情報の交換提供、各機関の行事調整など幅広く、問題解決の糸口を見いだそうとします。これまで、この種の会議が規則などにしばられて十分に話し合いができなかったのに対して、連絡会議ではフリーな立場で、気軽に話し合うことを基本として、問題

によって、ほかの機関の専門家も招いて意見を聞くなど、弾力的に運営することになって、その成果がおいに期待されます。

会議は、町からは助役以下農政関係課長と農委事務局長、農協からは専務及び課長、主任ら合計一六名で組織し、町と二つの農協が順次に会議を主催します。話し合うことは、各機関が作成する重要施策の調整

### 老人大学

### 16期生、54名が入学



老人大学第16期生の入学式(写真)が、1月12日老人福祉センターで行なわれました。入学生は54名で、今後2回、6カ月にわたり勉強をつづけます。

### 英霊の顕彰

#### 遺族の援護などに活躍の

#### 菊地さんに大臣表彰



菊地さん

英霊の顕彰 遺族の援護などを長い間にわたって行なってきた町遺族会長の菊地七三さんには、このほど厚生大臣から表彰を受けました。

菊地さんが遺族会の仕事に力を注ぐようになったのは終戦後で、それというのも、戦争で長男を失い、残された孫たちをはじめ、世間にはたくさんのお孫さんがいて、その人たちのために役に立ちたいという気持ちからです。

終戦前は、旧柿岡町の消防団長や町長などあらゆる公職をつとめました。しかし、終戦と同時に公職追放となり、それを機会に「公職にいつかつかないで、英霊や遺族のために手をさしのべよう」と思い、公職につかず遺族の援護などに専ら注ぎました。

このほど、老人大学第一期生の四八名が、めでたく卒業をしました。そのお礼、柿岡でカメラ販売を営む斎藤重夫さん(44)は、大学生の卒業記念写真をとり、無料で全員に贈ったので、卒業生からたいへん感謝されました。

歳末たすけあい募金 たくさんのかたから特殊寄付

歳末たすけあい募金に ついては、たくさんのかたがたからご協力をいただき、目標額を達成することができました。その中で、特殊寄付をいただいた団体や人びとの名前は次のとおりです。

▽八郷ライオンズクラブ 三万円  
▽八郷町百寿会連合会 一万六千四百円  
▽柿中生徒会五千円

▽島田梅松(下三郷) 千五百円  
▽島田哲男(南山崎) 二千円  
▽堀江千代子(神立) 二百九十円  
▽三輪孝夫(下林) 三千元  
▽畔川吉太郎(柿岡) 雑誌その他

### 南中学校に「築山」

#### PTA会員が協力しあって

昨年の四月、南中学校に体育館が落成しましたが、これを記念して南中学校PTA会員が協力しあって「築山」を造成して贈りました。

この築山は、小幡の田上善敏さん寄贈の八トンの巨岩や、下青柳の高橋信之助さん寄贈の老松などを配し、PTA会員の労力とをあわせてつくりあげたものです。

校門正面の広場中央にドッシリと構えた築山は、近代的な校舎とマッチして、すばらしい美観をつくりあげ、登校する生徒たちに暖

かい励ましのシンボルとなり、たいへん感謝されています。



老松などを配した「築山」

新春早々から異状乾燥の天候が続いて、かせの流行とともに火災の発生が心配

引続き寒明けとなり、本格的な火災シーズン。火災予防がますます重要



地域社会に与える迷惑や、被災者の被害などは災害の中でも火災が最高





七〇年に

望むこと

公民館長 田村 精



一九七〇年の新春を心から  
お祝い申しあげるとも  
に、一九六九年を反省し、  
新しい年への希望とでもい  
うものを考えてみたい。  
さて、一九六九年はまさ  
に乱世だった。学生同士の

殺し合いや、小学生誘いかいやらクルマどろほうやら毒  
物食品や飲料やら、議員や教員の汚職やらこう書きあ  
げるときがないのでやめるが、アポロ11号成功のウ  
ラに無数の不幸があると思うと科学技術の進歩を手は  
なして喜んでいくわけにもいなくなる。  
根本がまちがっているのだ。大学が営業化してな  
が教育であるか、または宇宙飛行士たちがおのれの無  
事を神に祈ったという人間の問題を忘れて戦争のデモ  
ストレーションをやる。それに比べると大学生や高校  
生のデモはまだしも愛すべきである。

いすれにしても、こんなことでは機動隊と自衛隊と  
警官をいくらふやしても追いつかず、したがって税金  
は高くなるばかりで、マイホームも目に見えて貧乏に  
なる。最後は、貧すりヤドンする。なれっこというも  
のは、おそろしいもので、テレビで学生があはれない  
と淋しく、議会のなぐり合いさえ国民はすでになれっ  
こになってしまった。  
大学さわざも大山鳴動してネズミ一匹。東大が旧に  
復すると地方大学はみなこれになろうというありさま  
で、大学立法の威力をあらためて感じさせられる。こ  
ういうことがあると、なにかあればすぐに立法、機動  
隊とくる。民主主義ということばがはやらなくなった  
と思つたら、なんのことはない、民主主義が国民にあ  
きられて、手おくれの社会教育だけが、いまだに民主  
主義ということばをもてあそんでいるにすぎないとい  
うことであつた。

紅衛兵日本版もすでに盛んになりつつある。高校生  
が大学生のマネをし、小学生が中学生の、幼稚園児が  
小学生のマネをし、教師が生徒のマネをするというあ  
りさまになったとき、文字どおりの民主主義が日本に  
実現される。それこそ男女老若、教師生徒無差別平等  
という民主主義の理想が実現され、世の中は実におめ  
でたくなるであろうが、日本人はたいそうリコーだか  
らそうはなるまい。そろそろ子が親をマネて、生徒が  
教師をマネるといふマトモな時代がきてよいころで  
ある。総選挙も終つた一九七〇年代はそうありたいも  
のだ。

### 成人式典おごそかに鹿島神宮で 280名が出席、鹿島港を見学



成年証書を受ける成人者

新しく成人になった人  
たちを祝う成人式典が、こ  
しも一月十五日、鹿島神宮  
の神前におこなわれました。  
鹿島神宮では、今回で六  
回目を迎えました。神前  
で行なうことになったのは  
人生の門出にふさわしい場  
所であることと服装の簡素  
化を目的として行なってい  
ます。

ことしは、五三七名がお  
となの仲間入りをし、式典  
には二八〇名が、簡素な服  
装で出席しました。成人者  
はバス六台に分乗して鹿島  
神宮に行き、神前で式をあ  
げました。成年証書と記念  
品を贈ったあと、主催者と  
して町長は、成人者におお  
いに期待する、また権利の  
主張と同時に義務も守って  
ほしいとあいさつしました

来賓あいさつは、代表  
して馬立議長がお祝  
いの言葉を述べた。最後に  
成人者を代表して潮田  
君が、力強い謝辞をの  
べて式を終りました。  
式終了後は、建設す  
すむ鹿島港の見学をし  
たり、香取神宮では、  
参拝と記念撮影をして  
成人の日の一日を終り  
ました。  
成人された人たちが  
今後、社会の中で活躍  
されることを期待しま  
す。

「農村若妻教室」  
開設される  
全町内の農家の若妻を対  
象に「農村若妻教室」が開  
設されることになり、その  
開講式が、十二月十六日八  
郷公民館で行なわれました  
主催は、石岡地区農業政  
良普及所と八郷町公民館で  
農家の若妻を対象に近代的  
感覚にもとづく生活のあり  
かた、および農村婦人とし  
ての必要な生活の管理能力  
などを習得してもらおうと



話し合いをする若妻たち

いうものです。  
受講者は、最初約五〇名  
程度を予定していましたが  
たくさん申し込みがあり  
ましたので、わくを広げて  
九一名の申し込みを受け付  
けました。  
これから三月まで、四回  
の開講を予定しており、食  
生活、子どものしつけ、先  
進地の視察などを行ないま  
す。短かい期間ですが、親  
の理解のもとに参加でき  
たので、この機会を利用  
しておおいに勉強してほ  
しいものです。

愛好者あつまり  
「八郷町短歌会」  
町内の短歌の愛好者があ  
つまって、このほど「八郷  
町短歌会」が誕生しました  
これまで、たくさんの方  
の短歌の愛好者が町内にて  
も、お互いに親しく研究す  
るなどの機会がなかったの  
で、愛好者が話し合い、結  
成しようという熱意から、  
会員二〇名で発足したもの  
です。  
今後は、会を中心にして毎  
月の勉強会を開いたり、  
機関誌の発行をするなど、  
かっぱつな活動をにつけ  
ようとしており、たくさん  
の愛好者が入会するよう  
ぞんじています。  
役員は発起人があたり、  
とうぶんの開つづけでゆく  
方針とのことです。役員  
の氏名などは次のとおりで  
す。  
役員：▽代表責任者大  
塚誠 △責任者鈴木文夫  
増子久子、潮田てる▽  
会計星野正夫▽連絡千  
田政市  
入会費：随時  
会費：百円  
定例会：毎月第二週日  
曜日  
事務所：八郷公民館内  
に置く

新年の香り高いこのよ  
き日に、心新たなる私た  
ち三百余名の成人式を、  
この神聖な鹿島神宮の神  
前において盛んに挙行  
だされ、成人への門出を  
思えば、私たちの生まれ



成人者代表 潮田 収 克

### 日本人としての誇りと自覚

お祝いしていただきます  
ことは、私たち一同感謝  
にたえません。  
私たちはさきほどから  
町長さんはじめ来賓のか  
たがたから心暖まるお祝  
いのことばと数々のご教

訓を賜りましたことを、し  
っかりと胸に刻んで未熟な  
がら日本人としての誇りと  
自覚を深め、いっそうの努  
力をすべく誓うものであり  
ます。  
思えば、私たちの生まれ

た昭和二十四、五年は、終  
戦直後にあり、多事多難を  
乗り越え国民全体が心身と  
もに疲れきっていた時代で  
あったと思います。  
それにもかかわらず両親  
隣人、先輩のかたがたのこ

厚情に守られて、今日無事  
に成人の日を迎えることが  
できました。これひとえに  
皆さまがたのご指導とご援  
助の賜ものと存じます。本  
当に長い間ありがとうございました。  
成人になりましたと

激動期への幕明けとい  
われているこれから、ま  
た目まぐるしく移り変わ  
ってきた二〇年の間の皆  
さまがた各位のご苦勞に  
報いるため、数々の有意  
義なるご教訓をしっかりと  
身に受けとるとともに、  
勉強に勉強を重ね、急激  
に移り変わる諸産業など  
の問題、前途に横たわる  
限りなき大小さまざまな  
壁を乗り越えて、立派な  
社会人となって今後八郷  
町の発展に寄与し、大き  
くは国家社会の進展に一  
生懸命努力することをお  
誓いいたしまして、成人  
者代表答辞のことばにか  
えさせていただきます。

### 俳句

裾踏んで吾が齢が見ゆ初かまど  
風揚ぐる仕種をボチの見つめ居り  
思いきり髪型若く初鏡  
淑氣立つ庭の石石その影も

下青柳 高橋たけ子  
細谷 金沢 翠柳  
辻 上林 愛子  
選者 詠

柿岡 鈴木 文緒  
瓦谷 増子 久子  
柿岡 千田 政市  
真家 山下 桂州  
賑やかに酒酌み交わす部落会希望明るし年のはじめに

細谷 金沢 翠柳  
下林 鈴木 弦月  
根小屋 島田 順風  
選者 詠

冬の天気として、テ  
レと新聞で毎日のように  
報いられているのに「西  
高東低型」ということば  
があります。  
これは、気圧が西に高  
く、東に低いということ  
で、冬の代表的な気圧配  
置で、冬の気圧配置と  
もいわれます。冬は、北  
半球では太陽高度が低く  
昼の長さも短いのので、ア  
ジア大陸は太平洋にくら  
べて非常に冷え、大陸と  
太平洋では温度差が大き  
くなります。  
すると大陸にはシベリ  
ヤ高気圧などが根をおろ  
し、東の太平洋上には低  
気圧がでやすくなります  
そして等圧線は、だいた  
い南北にはしり、その間  
隔も割合にせまくなっ  
てきます。  
このような西高東低型の  
気圧配置では、北西や西  
の季節風が強くなり、日  
本海側では雪が降り、逆  
に太平洋側では晴れて、  
冷え込みがひどく、冷た  
い風が吹くという冬に特  
有の天気となります。

あまっ た  
カレンダールは  
新年にたくさんカレン  
ダールをいたたいて、つる  
す場所困って、そのま  
ましまつてある家庭も多  
いことでしょう。殺風景  
なトイレの壁にかけると  
飾りになるし、なにかと  
便利です。